

一般質問 一問一答



渡部 寛一 議員

核兵器禁止条約 署名を求めて

問 7月7日に核兵器禁止条約が国連会議で採択されました。歴史的壮挙です。

答 しかし、日本政府は唯一の被爆国なのに、交渉に参加しないばかりか、条約に署名しないと安倍総理は言い放ちました。国民の怒りと失望を募らせています。

南相馬市は2006年に核兵器廃絶平和都市宣言を全会一致で採択。市民の命と暮らしを守るために市長は、日本政府に対し抗議し、条約に署名することを求めるべきです。

答 核廃絶は全ての私たちの願いです。市としても、私としても核兵器禁止の取組に積極的にかかわるべきです。この条約へ、国も参加すべきであることを強く求めていきたい。

市民を守るためには市職員も守れ

問 市職員の時間外勤務の実態はどうなっているか。

答 年間1人当たり平均が160時間、月80時間を超える職員は64人、年間1000時間を超える職員は3人です。

問 市民のためには職員の過重労働はやむを得ないとの考えは、根本的に間違っている。職体も心も壊している職



時間外勤務が最も多い総務部

質問を終えて

核兵器禁止に対する市長の姿勢は評価するも、職員の過重残業対策は遅すぎる。

その他の質問

- 1 市職員の有給休暇取得の実態は
- 2 国民健康保険県広域化で国保税は
- 3 国保は社会保障制度。国も県も予算確保を

一般質問



田中 一正 議員

気軽に利用出来る 交通手段とは

問 高齢運転者の事故が増えている。そのために運転免許証の自主返納者が増えているが、移動手段確保について伺う。

答 原町区及び鹿島区については定額タクシー実現のため、交通事業者や国と調整を行っているところである。

問 小高区に以前、eまちタクシーがあり、全国から自治体が視察に訪れ、持ち帰って活用している。安価で利用しやすいと言うことであるが、その様な交通体系で利用できること期待して良いのか。

答 原町区、鹿島区で展開する予定の一定額の定額タクシーについては通常の料金に比べて、3割から4割くらい安い価格で提供出来る予定。予約をすれば、玄関先まで迎えに行ける体制である。

問 以前の計画では32年度からの実施計画であるが実現は何時になるのか伺う。

答 相馬方面から走っているバスについて復興公営住宅や市内商業施設を周り、原ノ町駅を通じて市立病院まで乗り入れをするルートを考えている。市民の皆様の足の確保に努めて行く。

質問を終えて

ようやく市民の足が復活する。

その他の質問

- 1 運転経歴証明書提示によるサービス導入は
- 2 認知症対策は
- 3 移住者の拡大は



路線バスのコースに入る予定の原ノ町駅



門馬 和夫 議員

復興取り組みの 方向性は？

これまでの成果と課題

問 従来の復興に向けた取り組みの成果と課題を、「政治家としての市長は」どのように捉えているか伺う。

答 復興事業を最重点施策として、除染、住宅の整備、道路の復旧などに取り組んできた。小高では病院や薬局、小中学校の再開など少しずつ生活環境が改善されつつある。

最大の課題は労働力人口不足。（復興企画部長 長谷井）

問 震災前総額75億円だった基金が、28年度末で431億円。この内一般財源の基金だけで15億円から197億円と大幅に増えている。

答 28年決算の影響や使途も含めた考え方は？

答 今後、インフラの長寿命化に要する経費

等も必要になってくる。

基金の増加分は、維持補修基金の新たな積み増しも考えながら、長期的な一般財源の確保という考え方で今後進めたい。（総務部長）

問 基金増加の要因は、復興の大切な時期に、一般財源を活用しきれず残っている結果だ。

答 維持補修や不足する財源の補てんだけでなく、重点復興事業に計画的に活用すべきだ。

コミュニティの再生

問 区間の分断解消、市民の誇りを取り戻すことが重要。隣組加入を促進し、公民館活動を活発にしている？

答 地域の絆づくり支援事業を活用するとともに、かつての公民館活動の再開に向けて対応すべき。（総務部長）



思えば、これが分断の始まり

質問を終えて

市を分断したのは国政ですが、感情・心の分断を解けるのは、市民生活に密着した市政です。

その他の質問

①教育の振興について
②医療・介護の復興について

③旧避難指示区域の復興について



中川 庄一 議員

全国植樹祭！ 本市再興の第一歩

問 第69回の全国植樹祭の日程が来年6月10日に決定しました。本市の取り組みについて伺う。

答 10月14日の鎮魂復興市民植樹祭や11月11日にうつくしま育樹祭100日前イベントに県と連携し取り組む。開催前に当たっては会場周辺へのフラワープランターやのぼり旗の設置を行っていく。



第68回全国植樹祭の様子（平成29年5月28日（日）富山県）

問 市長が全国の皆様にご覧いただけるまちづくりとの報道がありました。想定を伺う。

答 被災地である海岸において、海岸防災林を初めとしてロボットテストフィールドが脇に設置され、太陽光発電にも取り組み、復旧復興へ力強く歩み続けている姿を南相馬市のまちづくりの一環として御披露したい。

問 遠距離通学の支援についてであるが、4km未満の場合助成がない現状であるが、原町第一小学校では集団登校が再開されており、子供達への支援をすべきである。市内全域における制度の見直しが必要と考えるが、見解を伺う。

答 現時点では、制度の見直しについては考えていないが総合的な支援の仕方は今後検討

を要する。学区のあり方の部分、適正規模、適正配置の考え方も今進めている。

問 学力向上のために児童生徒に対する支援策について伺う。

質問を終えて

本市の未来を担う子供たちへの支援の拡充が必要である。

その他の質問

①楽天こどもスタジアムについて
②待機児童の対応、対策について
③指定管理の在り方について

一般質問